

業務部速報



No. 115

発行 25. 6. 5

JR東労組 業務部

申20号

「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた 6月4日第1回交渉行う！ 新たな組織と働き方について」に関する解明申し入れ(その1) NO. 2

1. 「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」を実施する目的を明らかにすること。

会社の考え方 解明内容のポイント

【60歳原則出向】

- ・技術継承や人材育成の観点から後進に道を譲っていただきたい。
- ・エルダー制度より労働条件は格段に良くなる。また、出向先会社は今までと変わるものではない。

【休日の増】

- ・平成3年度入社者の退職期を迎えるのが2032年から。今年度から採用者数を増やし、今後ワンマン化などさらなる効率化を進めることで要員問題は改善される。昨年度が要員の厳しい状況の底である。

2. この間チームワークでつくりあげてきた鉄道の安全に対する考え方を明らかにすること。
また、各システムの技術継承の考え方を明らかにすること。

会社の考え方 解明内容のポイント

【チームワーク】

- ・様々な業務を担うことで多面的に見える社員が多くなりチームワークが良くなる。安全レベルも向上する。当社のチームワークは他社と比べての格段に良く、チームワークは大切である。

【技術継承】

- ・安全は不変であり大前提である。技術・技能継承は当社にとって必要なことである。

【能力昇給】

- ・社員個々の能力の伸長を見るのであり、過度な競争は生まれない。区分1～6の基準はない。
- ・課題を設定して管理者と社員がコミュニケーションをとり、進捗状況を把握し1ON1ミーティングなどを開催しアドバイスをしていく。・現在も1ON1ミーティングを2週間に1回15分間の開催している箇所はある。人事評定する管理者の他に、人材育成など行う主務職も重要となる。

3. 鉄道の特性と特殊性に対する考え方を明らかにすること。

会社の考え方 解明内容のポイント

【乗務員勤務制度】

- ・乗務員勤務制度や労働時間A・Bの考え方を考えるための施策ではないので、現行これらを変える認識はない。

次回は、3項途中から行います！